

第 127 号

発行日
2024. 3.15

Super Highway

春闘速報 14

J R 東労組バス関東本部

下請け企業との価格転嫁に応じない 10 社公表

公正取引委員会は、下請け企業との価格転嫁の交渉に適切に応じなかった企業名を公表しました。公表されたのは、イオンディライト、SBS フレック、京セラ、西濃運輸、ソーシン、ダイハツ工業、東邦薬品、日本梱包運輸倉庫、PALTAC、三菱ふそうトラック・バスの 10 社です。価格転嫁に向けた積極的な協議を促すとしています。

なかまの声

今春闘が大事におもいます。昨年は期待外れでした。今年は去年の分まで勝ち取ってほしいです。

人材不足中にも関わらず収入を上げて努力してきた社員に対して満額回答で答えるべきだ。

世の中の企業は 2 年連続で賃上げたと言うのに我が社も企業努力で満額回答すべきだ

自分たちの保身しか考えられない上層部には、何を言っても無駄ですね。本社の上層部も役職定年制にして、乗務員上がりは現場運転手、学士上がりは一般事務として、各支店に配属すべきでは？現場と感覚が違い過ぎる老害が幅を利かせていては、良くなるものも良くなりませんよ。正直者が馬鹿を見る会社には愛想がつかしました。

定年延長だけでなく 60 歳以降の退職金掛率はいつ辞めても定年の掛率を採用して欲しい。

毎回良い回答が得られないようでは、離職者が増えるいっぽうである。明るい未来となるような回答を待ち望んでいる。頑張ろう。

すっかりブラック企業の仲間入りです。経営者変わらないとかわりませんね。馬の耳に念仏。

J R バス 関東で働く仲間を一つに！